

八重瀬町立具志頭幼稚園	連絡先	TEL 098-998-3644
	Eメール	gushiyou1@town.yaese.lg.jp

## 1 実践事項

「特色ある取り組み」

タイトル：「小動物との関わりを通して幼児の思いをつなぐ」



## 2 実践内容

具志頭幼稚園はシークワサーや桑の木をはじめ、草花や小動物、昆虫など自然に恵まれた環境にあり、子ども達は毎日園庭で体を動かしたり自然物を取り入れたりして好きな遊びを楽しんでいる。その中で、夢中になって遊び込む子を育成するために日々の保育の振り返り、環境構成や援助の工夫をし、幼児の思いを大切にしながらその中にある育ちは何かを考えながら、保育を進めている。

実践事例 「虫捕りから表現遊びへ」

年中4歳児

虫が好きな男の子達が4月当初から園庭で様々な虫に興味を示し、捕まえて遊んでいる。また、今年度は好きな遊びや生活の中で自然に年中児と年長児の関わりがよく見られる。年中児は年長児に憧れをもって真似をしたり教えてもらったりするなど、遊びを通して様々な刺激を受けている。

<p>幼児の姿</p>	<p>☁ 幼児の思い 経験していること</p>	<p>◎援助 □環境構成</p>
<p>9月 虫のお家づくり</p> <p>虫に興味を持ち、園庭で虫捕りをして遊んでいる。これまでは虫を捕まえることで満足している姿が見られたが「虫のお家を作ろう!」と、空き箱に切った色画用紙をたくさん入れ、その中に虫を入れて遊んでいる。自分たちなりに虫をかわいがっているが、まだ虫との接し方がわからない様子。</p>	<p>☁ ぼくたちの カメムシ</p> <p>☑ 興味・関心</p>	<p>◎色々な生き物を一緒に捕まえたり観察したりして、子どもが面白さや不思議さを感じられるようにする。</p> <p>□観察ケースや図鑑を手に取りやすいように用意する。</p>
 <p>ふわふわにしてあげよう</p>  <p>だれのものにする?</p>		<p>↓</p>

### 【教師の願い】

捕まえた虫を観察したり名前や餌などに興味を示したりしながら、友達とのかかわりも広がっていくといいな。

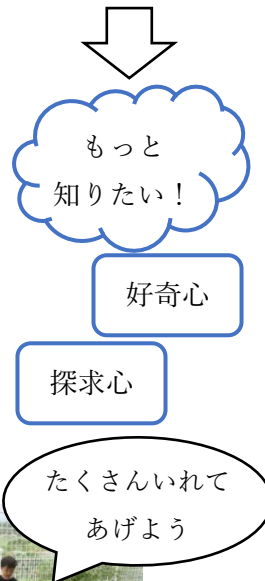
10月下旬

第24週ねらい

自分の思いや考えを出しながら  
友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。

虫が好きな男の子達が集まって虫捕りをしている。自分たちで図鑑を開いて調べながら、「この虫は背中がこれとおなじだ！」「何食べるのかな？何て書いてる？」と聞いて年長児に教えてもらうなど、興味が広がっている様子。「虫のお家を作ろう！この草が好きだからたくさん入れてあげようね」と話したり図鑑で飼育方法の絵を見たりしながら、虫のお家作りも変化してきた。

ここにいたから  
この草が好きだはず



□図鑑を手に取りやすいように置いておく。

◎教師も一緒に虫を観察したり図鑑を見たりしながら、子どもの発見や言葉に共感してかかわる。

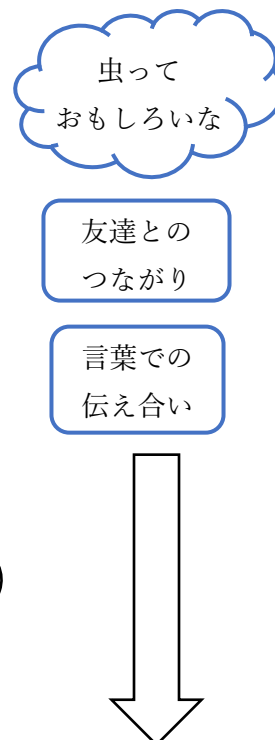
友達と一緒に毎日虫捕りを楽しむうちに、「後ろのジャガイモ畑にはカメムシがいるよ」「バッタはお山の草のところにいるんだよ！」と幼稚園の生き物がいる場所をたくさん知ったり、年長児と一緒に遊ぶ中でバッタにも種類や名前があることを教えてもらったりしている。また、年長児ならではの気付きや言葉に触れ、興味・関心が広がっている。

バッタも鳴くって  
言っていたよ



色も大きさも  
おなじだ！

ほんとだ、  
聞こえるかも



◎子ども同士のかかわりや、やり取りを見守ったり、子どもなりの言葉での表現に共感したりしてかかわる。

◎小さな生き物にも命があり、大切にすることも伝えていく。

□捕まえた虫を観察しやすいように、虫のコーナーをつくる。

### 【教師の願い】

虫について知っていることを友達と一緒に表現して遊んだり他の友達に伝えたりすることができるといいな。

お絵かきが好きな Y さんが捕まえた虫の絵を描いている。「体は赤と黒だね」「目もある」「足は黒だ」と、虫をよく観察しながら描いている。それを見ていた他の子も「ぼくはこの前捕まえたちょうちよ描きたい」「バッタ描こう！」と絵を描き始めた。



足は何本かな  
1, 2, 3...



虫が大好き！  
先生や友達に  
見せたい

絵を描いて  
表現



◎子どものイメージや「描いてみたい」「見せたい」という気持ちを大切に、安心して表現することができるようにする。

## 12月 お楽しみ会「ぼくたち虫はかせ」

お楽しみ会の出し物で虫博士となり、みんなの前で虫の紹介をすることができた。少し緊張しながらも、虫がいる場所や名前、虫について気が付いたことなどをインタビューに答えている。それが自信となり、その後も捕まえた虫を学級の帰りの会で紹介したり友達と一緒に虫捕りを楽しんだりしている。



カメムシです  
足は黒です

ショウリョウバッタです  
葉っぱを食べます

友達と一緒に...

絵や言葉で  
伝える

友達と一緒に  
という安心感

◎子どもの言葉を引き出しながら友達と一緒に表現する楽しさを味わえるようにする。

友達や先生と一緒に園庭の地図を作り、虫がいる場所に写真を張り付けていく。「この虫はここで捕まえたことあるよ」と話しながら貼ったり、これまであまり関わりがなかった子も興味を持つきっかけとなった。



◎子ども達と一緒に地図を作りながら、子ども同士のやり取りを見守り興味・関心を探る。

□虫のコーナーを作り、興味を持てるようにする。

### 3 成果

- ・ 幼児が何に興味を持っているのか、何が育っているのかを捉えた上で、見通しを持って指導計画を作成し援助をすることで遊びが展開し様々な育ちを見ることができた。

### 4 課題

- ・ 幼児が発達に必要な経験を積み重ね、新しいものと出会えるような環境の工夫が求められる。
- ・ 生き物を大切にしようとする気持ちが育つような教師の関わりや環境構成の工夫の必要性がある。